

協会だより



雪化粧の両神山 美の山公園より撮影

【平成27年度 全国統一防火標語】

「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

新春を迎えて

秩父防火安全協会
会長 小池 文 喜



秩父防火安全協会の会員事業所の皆様、あけましておめでとうございます。

会員の皆様には平素より当協会の事業推進につきまして、ご理解とご協力を頂きまして厚くお礼申し上げます。お陰様で平成27年度の主な事業も計画通りに実施することができました。

さて、去年は国会で長時間にわたって自衛隊法改正などが集中審議されましたが、今年は参議院議員選挙もあり、衆議院も解散するかも知れませんが、いよいよ憲法改正が議論に上るかも知れませんね。秩父地域では市役所新庁舎も完成しそうですし、火葬場も新しくなりそうですし楽しみです。

当協会は来年度も防火・防災思想の普及啓発と地域社会の発展等に引き続き取り組んでいきたいと思っておりますので、会員の皆様にも当協会の行事に積極的にご参加いただくなど特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、秩父地域の安全と会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

平成28年の新年を迎えて

秩父消防本部
消防長 梅 澤 茂

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

今年の正月は穏やかで暖かい日に恵まれました。会員の皆様には平成28年の新春をご健勝にてお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、最近日本の各地で集中豪雨、土砂崩れ、噴火等の自然災害が発生し、多くの尊い生命が犠牲となり、そして、甚大な被害となっています。

秩父地域においても、このような災害がいつ発生するかわかりません。「自分の身は自分で守る」ためにも、いざという時に的確な行動がとれますよう、普段からの訓練や防災情報に関心を持って頂くようお願い申し上げます。

秩父消防本部・署といたしても多様化する各災害に対応するため、消防力の強化を図り、専門的かつ高度な技術知識を習得しなければならないと考えております。今後も関係防災機関と連携しながら、住民が安心・安全に暮らせるよう取り組んでまいりますので、関係皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、秩父防火安全協会の益々のご発展をご祈念申し上げますとともに、平成28年が会員皆様にとってより良い年であるようお祈り申し上げ、簡単ではございますが年頭のご挨拶とさせていただきます。



平成27年度 評 議 員 会

平成27年6月19日(金)、秩父消防本部4階講堂において平成27年度秩父防火安全協会評議員会が役員21名の出席のもと開催されました。

最初に「公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会」の表彰伝達及び「秩父防火安全協会」の表彰を受賞されました方々に、表彰状が授与されました。



評議員会では協会会則第13条に基づき各議案が慎重に審議され、その結果、いずれも原案のとおり満場一致で可決承認され評議員会は終了しました。

- ・第1号議案 平成26年度事業結果報告について
- ・第2号議案 平成26年度会計決算報告について
- ・第3号議案 平成27年度事業計画(案)について
- ・第4号議案 平成27年度会計予算(案)について



表 彰

表彰受賞者(順不同・敬称略)

公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会表彰

優良危険物事業所	有限会社 引間石油店
優良危険物取扱者	武甲鉱業 株式会社
	武甲鉱業所 酒井恒男
優良普及啓発活動	株式会社 井上組

秩父防火安全協会表彰 優良防火管理者表彰

株式会社 和銅鉱泉旅館	町田幹男
株式会社 秩父イフサキ	染野 操
医療法人全和会 老人保健施設ピッラ・ベッキア	

受賞者の皆様、おめでとうございます。



石原雅哉

秩父広域消防出初式

新春恒例の秩父消防出初式が、平成28年1月9日(土)秩父消防本部において多くの来賓及び観客の皆様にご来場いただき盛大に行われました。

消防出初式は、消防職員の規律・部隊の練度を確認することを主な目的とし、消防の仕事を広くご理解いただくとともに地域住民の信頼の向上を目指し開催しています。

当日は風もなく穏やかな青空の下、観閲、部隊点検に始まり、音楽隊の演奏のほか秩父篤組合皆様のご協力を得て梯子乗りの披露が実施されました。秩父地域のこの一年が、出初式当日の天候のように平穏な一年であることを願い報告させていただきます。



平成27年度 県外視察研修

平成27年11月3日(火)・4日(水)の2日間、15名の参加者で協会視察研修を行いました。

1日目は、ニッカウヰスキー仙台工場宮城峡蒸留所の視察でした。緑豊かな自然景観をそのまま活かした広大な敷地内には蒸溜棟やキルン塔、赤瓦の貯蔵庫等が建ち並び、ウヰスキーの製造工程や歴史を学ぶことができました。宿泊は松島温泉湯本『一の坊』。ホテルからは松島湾を一望でき、翌朝は露天風呂から荘厳な日の出を見ることができました。

2日目は東日本大震災の被災地、東松島市大曲浜地区の慰霊碑を視察しました。慰霊碑の全高は台座を含めると大曲浜地区を襲った大津波と同じ6メートル。震災から5年を前にあらためて震災の恐ろしさを感じさせられました。

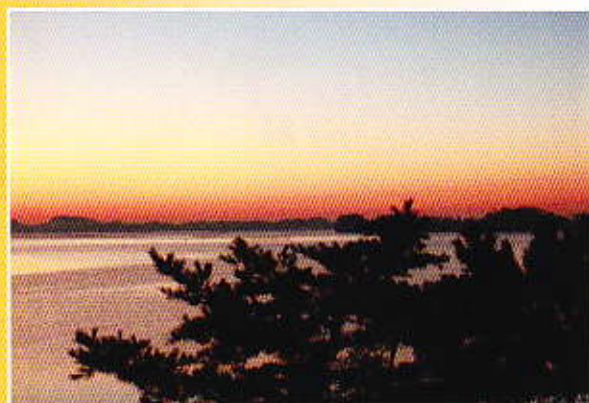
秋の深まりとともに、会員、事務局の親睦も深まった2日間でした。



ニッカウヰスキー仙台工場宮城峡蒸留所



キルン塔



ホテルより松島湾を望む



日の出



松島『一の坊』にて記念撮影



東松島市大曲浜地区の慰霊碑

第29回幼年消防クラブ 秩父地区大会開催

(秩父防火安全協会後援)

第29回幼年消防クラブ秩父地区大会が、平成27年10月15日(木)秩父ミューズパーク野外ステージで開催されました。

21クラブ616名の園児が、音楽隊の演奏に合わせて元気いっぱいに歌を合唱したほか、防火についての誓いの言葉を披露しました。保護者の皆様も大勢見学に来られて盛大に行われました。



防火の誓い



音楽隊の演奏



元気いっぱいの園児たち



防災航空隊による救助訓練

消防体験学習

平成27年7月31日(金)に小学生を対象とする消防体験学習を実施しました。火災などの災害に対する予防と応急処置を学習するとともに、命の大切さを学び、助け合いの心を育成することを目的として開催し41名の児童が参加し応急処置訓練、初期消火訓練、放水訓練等を実際に体験しました。

天候に恵まれ、真夏の日差しの中参加した児童は、暑さに負けずに元気に体験学習を終りました。



平成28年 春季火災予防運動

平成28年3月1日(火)～3月7日(月)

火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防を一般住民や事業者に啓発し、火災の発生を防止することを目的に実施します。

火災予防にご協力をお願い致します。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント － 3つの習慣・4つの対策－

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具や衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

寝たばこは絶対にやめましょう！



ストーブで洗濯物を乾かすのはやめましょう。



こんろのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう！



住宅用火災警報器設置広報を県下一斉に実施

平成27年11月9日に、埼玉県下28消防(局)本部が一斉に住宅用火災警報器の設置促進のため広報を実施しました。

住宅用火災警報器の設置率は、平成26年6月の調査によると全国平均で79.6%となっていますが埼玉県では72.5%(全国37位)にとどまっているのが現状です。

このような現状を改善するため、消防職員と外郭団体の皆様の協力により埼玉県下一斉に多くの人が集まる場所で住宅用火災警報器設置促進の広報を実施しました。

秩父消防本部では、ベルク公園橋店及びユニクス秩父の両店舗にご協力を頂き店頭にてリーフレット入りのポケットティッシュ等を配布し住宅用火災警報器設置の呼び掛け広報を実施しました。

火災予防条例で住宅用火災警報器の設置が義務付けられていますが、設置、維持管理は、各世帯が行うべきものです。住民の皆様にもそのことをしっかりと理解してもらう必要があります。今後も未設置世帯の一日も早い設置に向けて、住民への周知のための広報を行っていきます。

平成27年 火災・救急 救助概況

火災発生件数



救急発生件数

区分 市町別	火災件数								死傷者	
	建 物				林 野	車 両	そ の 他	合 計	死 者	傷 者
	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や						
秩 父 市	8	1	5	6	2	1	14	37	3	6
横 瀬 町	1	1					2	4	1	
皆 野 町			3				2	5		
長 瀬 町					1		3	4		
小鹿野町	2		1	1		2	3	9	1	1
合 計	11	2	9	7	3	3	24	59	5	7

区分 市町別	出場 件数	不搬送 件数	搬送 人員	事 故 種 別													
				火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
														転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等	そ の 他
秩 父 市	2,964	199	2,797	5		2	266	28	10	436	13	51	1,736	388	2	1	26
横 瀬 町	321	19	304				36	3		41	4	3	229	3			2
皆 野 町	510	27	488			2	33	4	1	42	1	7	278	135			7
長 瀬 町	333	26	313			4	30	2	2	68	5	7	204	8			3
小鹿野町	537	32	512				33	7	1	100		9	334	50			3
そ の 他	2	1	2				2										
計	4,667	304	4,416	5		8	400	44	14	687	23	77	2,781	584	2	1	41

救助発生件数



区分 市町別	発生 件数	事 故 種 別										その他の事故		
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故		その他の事故		山岳
												その他		
秩 父 市	63	3	17	3		5	3	3				29	16	13
横 瀬 町	11		2	1		1	2					5	2	3
皆 野 町	5		2			1						2	2	
長 瀬 町	10		2	4								4	1	3
小鹿野町	13	1	1			2						9	1	8
計	102	4	24	8		9	5	3				49	22	27

救急活動技術向上訓練を実施

秩父消防本部では平成28年1月25日から、本署並びに各分署において救急活動技術向上訓練を実施しました。

この訓練は秩父消防本部消防長から認定を受けた秩父消防指導救命士2名と各分署の指導救命士補助者を指導員として、多種多様な救急現場に対応するため、救急車に搭載してある救急資器材の活用方法、現場に即した活動のスキル習得と119番通報時での指令課員の口頭指導対応技術向上を図ることを目的に実施しました。

今後もこのような救急活動訓練を計画して、さらなる救急隊員のスキルアップを図っていききたいと思います。



甲種防火管理新規講習会開催

秩父防火安全協会の主催により、平成27年6月23日(火)・24日(水)の2日間にわたり秩父消防本部において、甲種防火管理新規講習会が実施されました。本年も受講希望者が多く会場一杯の70名の方が受講され、防火に関するカリキュラムを受講し、全員の方が資格を取得することができました。

※来年度も同様に6月中(2日間)に開催する予定です。なお、案内通知は5月配布予定です。詳細については秩父消防本部ホームページに4月以降掲載いたします。ご不明な点は秩父消防本部予防課までお問い合わせください。

秩父消防本部 予防課 TEL 0494-21-0121
ホームページ <http://www.chichibu.ne.jp/~cfd/>



甲種防火管理再講習会開催

秩父防火安全協会の主催により、平成28年2月5日(金)秩父消防本部において甲種防火管理再講習会が開催され10名の方が受講しました。受講対象者は、甲種防火管理者の資格を有し、不特定多数の人が出入りする300名以上を収容できる規模の大きな店舗やホテル・旅館等の防火管理者です。

この講習は、5年に1回の受講義務があり防火に関するカリキュラムを受講しました。

※来年度も同様に2月中に開催する予定です。